

日本三景の一つである「安芸の宮島」の砂防指定地、紅葉谷川は、昭和20年の枕崎台風により被災したため、災害復旧事業により史跡・名勝地らしさが失われないよう、自然を生かした材料や、景観に配慮し、人工的なコンクリートの面は石に包み、いっさい人目にふれない工夫がなされた。今では、写生大会、撮影会等、各種イベントが催されている。



宮島は、本来の島名を厳島といい、日本三景の一つとして全国に名を知られている。

昭和二三年から二五年にかけて、島

内を流れる砂防指定地紅葉谷川において土石流災害復旧工事が施行されたが、このうち下流約一キロメートルの間は史跡名勝の地としての景観をそこなわ

ないよう、庭園砂防と呼称される方法が用いられた。

これは、土石流に混在していた巨石や大きささまざまな石材を傷つけず、割らず、巧みに組み重ね、庭園ふうにならしたものである。また、周囲の樹木は一本たりとも伐採せず、人工的なコンクリート部分は野面石で包んで人目にふれないよう工夫するとともに、流水にはとどころどころに淀みを与え一層庭園の趣をかもし出し、外国の学者、建築家の間でも絶賛を浴びている。

庭園砂防が整備されて以来、土砂害は一度もなく、訪れる人々は安心して水辺に遊び、沿川の小道を散策することができ、付近住民はもとより全国津浦浦からの観光客にも、憩いの場として愛され親しまれている。

データボード⑤①

- ① 広島県宮島町紅葉谷
- ② 宮島町役場 ☎0829-44-2000
- ③ 流路工：延長1,650m
- ④ 石材
- ⑤ 写生大会、自然観察会、お茶会、撮影会